

＝広島大学＝ インドシブプール工科大学と協定



協定書を手にするハフィズ・ラーマン教授⑤と越智学長⑥

広島大学は11月24日、インドシブプール工科大学(IIEST)のハフィズ・ラーマン教授が同大東広島キャンパスにおいて越智光夫

学長を表敬訪問し、両大学は大学間交流協定の締結式を行った。
インド・西ベンガル州に位置するIIESTは、インドにおける学士および博士人材育成を牽引する機関であり、これまで同大とは研究力強化に向けた重点支援を行っている研究拠点である「社会実装指向型HISENS拠点」および博士課程教育リデザインプログラム「たおやかで平和な共生社会創生プログラム」の事業実施に関連し、研究交流を推進してきた。

今後、学術・教育分野における協力を通じて、両国および両大の相互理解を深めるとともに学術の進歩・発展、人材育成に貢献していくことが期待される。

＝広島大学＝

留学生「協働で創る多文化共生社会」セミナー

広島大学は11月18日、広島大学短期交換留学プログラム(HUSA)留学生向けに開講している「グローバル化支援インターンシップ」授業(国際センター 恒松直美准教授担当)の一環として、「地域と大学が協働で創る多文化共生社会」公開国際セミナーを開催した。2016～2017年度のHUSAプログラムでは、北米・ヨーロッパ・オセアニア・アジアの15カ国30大学からの交換留学生39人が同大で学んでいる。

セミナーでは、アメリカ・メキシコ・中国・台湾・韓国・タイ出身の留学生11人がHUSAプログラムの代表として、プロジェクトの企画発表を行った。留学生は主に2種類のプロジェクトに取り組みしており、「インターンシップ」に挑戦する留学生は今年2月に開催される「倉橋フェスティバル」における地域の人々との国際交流企画の提案を行い、「グローバル・リーダーシップ・プロジェクト」に取り組み留学生は「HUSAプログラム自助支援プロジェクト」を提案した。



地域からは、呉市議会議員、呉市産業部観光振興課、倉橋まちづくりセンター、倉橋観光ボランティアガイドなどに参加してもらい、HUSA担当の恒松直美国際センター准教授による「多文化共生社会」の重要性や、留学生の提示した斬新なアイデアや提案について、英語と日本語を使用した活発な議論が展開された。この国際的体験学習を通じて、留学生と地域の人々との絆が強まっていくことを願っている。

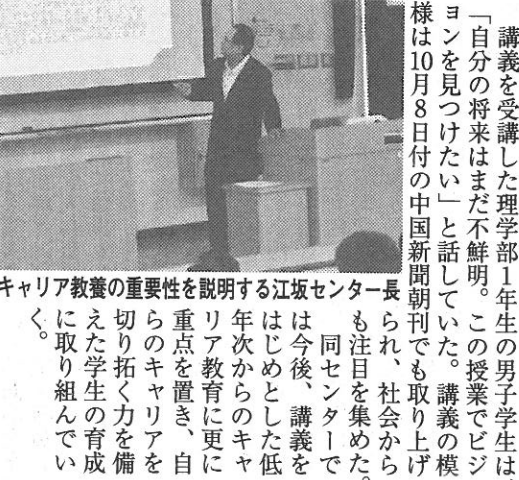
＝広島大学＝

「世界に高い社会力をつける」通用する高い社会力をつける

広島大学グローバルキャリアデザインセンターは、学部1年生を主な対象とした教養教育科目「キャリア教育講座―世界に通用する高い社会力をつける―」を平成28年度第3タームに新たに開講した。

この講義では、同センターの相談員(企業や公務員の人事・管理職経験者)や、キャリア教育のエキスパート、キャリアアプランナーら精鋭人が講師陣となり、社会へ出る土台となる太くしっかりとした社会力を高め、教養を身につけることを目的としている。

第1回目の講義では、約60人の受講学生らに向けて、江坂宗春グローバルキャリアデザインセンター長(副学長(学生支援担当))からキャリア教育の重要性について説明があった。その後、元グローバルキャリアデザインセンター相談員、地元紙・中国新聞に長年勤め、人事の経験も豊富な産本力氏が初回講義「時代を読む」を行い、学生らは真剣な眼差しで受講した。



講義を受講した理学部1年生の男子学生は、「自分の将来はまだ不鮮明。この授業でビジョンを見つけた」と話していた。講義の様子は10月8日付の中国新聞朝刊でも取り上げられ、社会からも注目を集めた。同センターでは今後、講義をはじめとした低年次からのキャリア教育に更なる重点を置き、自らのキャリアを切り拓く力を備えた学生の育成に取り組んでいく。

＝山口大学＝

特許情報 研究所 インストラクター認定式

山口大学は10月17日と10月27日、特許情報研究所インストラクターの認定式を開催した。今年度は講習会を8、9月に開催し、学内の学生・院生向けの平成28年度前期集中講義/知財展開科目(知財情報の分析と活用)の中に組み込み実施した。講習会は、「特許情報研究所インストラクター養成」のための講座も兼ねたものであり、また、広く学内・学外者(他大学・高専・高校、自治体、企業等)に

＝山口大学附属山口中学校＝

全国バレーコンクールで第1位

教育学部附属山口中学校3年生の藤本結香さんがこのほど、平成28年度全国日本バレーコンクールジュニアB(13歳～15歳)女性の部において見事第1位を受賞し、10月18日、学長表彰を受けた。写真。
藤本さんは、本戦出場のための中国支部選考会を1位で突破し、全国大会では95名出場した中で予選、準決勝と進み、決勝に残った25名の中で見事、第1位と輝いた。